

性感染症について

Q 性感染症って何ですか？

A 性的な行為によって相手にうつる病気を性感染症といいます。
早めに治療すれば治すことができるものもありますが、再発することも多く、治療が不完全だと慢性（まんせい）化することもあります。
がんや妊娠しにくさ（不妊症）などの原因になることもあります。
感染しないこと、感染させないことが大切です。

Q 性感染症になったらどうしたらいいですか？

A 性感染症は、自然には治りません。
性感染症にかかると、男女とも妊娠しにくさ（不妊症）の原因になることがあり、女性では妊娠・出産のときに赤ちゃんにもうつる（母子感染）危険性もあります。
気になる症状のある時は、必ずパートナーと一緒に検査・治療を受けましょう。
パートナーも性感染症に感染している場合は、一緒に治療を受けることがとても大切です。
どちらか一人だけが治療しても、パートナーから再び感染する可能性があります。

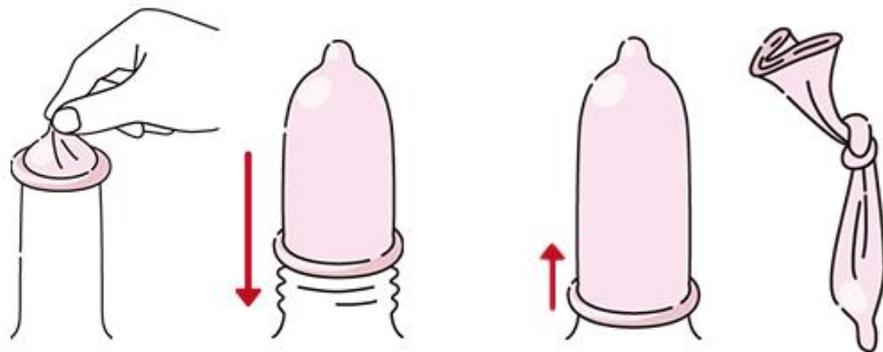
HIVやその他の性感染症が心配なときは下記の窓口から電話・LINE相談や検査を受けられる施設が探せます。

- 子宮頸がん予防（HPV）ワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談
- HIV検査センター

Q 性感染症にならないためにどうしたらいいですか？

A 性感染症を防ぐには2つの方法があり、コンドームをつけることと、性行為（セックス）またそれに近い行為をしないことです。

- ① 射精直前にだけ付けるのは意味がない
始めから終わりまでコンドームを付けましょう。
- ② 正しい装着方法を行う
空気はきちんと抜いてから装着しましょう。空気が入っていると、性行為（セックス）中に破れる可能性が高まります。
- ③ 正しいはずし方を行う
射精後はすぐにコンドームの根元を持って抜き取りましょう。
すぐ抜かないと縮小した性器の間から精子が漏れたり、はずれたりして危険です。



空気はきちんと抜いてから装着しましょう

射精後はすぐにコンドームの根元を持って抜き取りましょう。